学校番号	３０２３

令和２年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「新・社会と情報」　（日本文教出版）						
副教材等	情報のノート「新社会と情報」　（日本文教出版）						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実践的・体験的な学習を通して、コンピュータやネットワークについて学び、日常使っているICT 機器に対して、理解を深め、良い使い方は何かを考えましょう。
・コンピュータやネットワークを利用したコミュニケーションについて、ワークショップや演習等を通して考え、コミュニケーション能力の向上を図りましょう。
・情報の授業で学習した内容を他教科や学校行事・クラブ活動にも活かしていきましょう。

２ 学習の到達目標

・日常のさまざまな問題を解決するために、コンピュータを活用して情報の収集や整理を行うことができる。
・コンピュータの仕組みやネットワークの仕組みを理解し、それらを適切に活用できる。
・情報化が社会に及ぼす影響、情報を受信・発信するときの責任を理解した上で、ネットワークを利用したコミュニケーションを含め、高度情報通信社会に主体的に対応できる。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・情報を多角的・多面的に吟味し、その価値を見極めていこうとする態度 ・自らの情報活用を振り返り、評価し改善しようとする態度 ・情報モラルや情報に対する責任について考え行動しようとする態度 ・情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度	・さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉える力 ・問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力 ・複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力	・情報と情報技術を活用するための基礎・基本的な技能 ・目的に応じて、情報および情報技術を適切に扱う技能	・情報と情報技術を適切に活用するための知識とそれを活用して問題を発見・解決するための方法についての理解 ・情報社会の進展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響、および、情報に関する法・制度やマナーの意義と情報社会において個人が果たす役割や責任についての理解
評価方法	学習状況の観察 情報のノート 実習作品、発表 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 情報のノート 実習作品、発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 情報のノート 実習作品、発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 情報のノート 実習作品、発表 定期考査の結果等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			関	思	技	知		
前期	情報社会	○コミュニケーション ○メディアリテラシー ○知的財産権 ○個人情報	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:インターネットでのコミュニケーションの心構えについて関心をもっている。 b:情報化の進展が社会を発展・充実させてきたことや、それに伴って生じてきた様々な課題とその解決方法、対処方法を考えることができる。 c:情報に適したメディアを選択し、電子メール・Webページ・電子掲示板・チャットなどのインターネット上のコミュニケーションで適切な対応ができる。 d: 著作権の様々な権利を理解し、インターネット上でのマナーやモラルについて理解できる。	授業観察 情報のノート 実習作品 定期考査
前期	情報システム	○情報システム ○情報セキュリティ ○暗号化 ○アルゴリズムとプログラム ○情報格差	○ ○ ○ 	○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○	a:情報セキュリティの仕組みに関心をもち、情報通信ネットワークを安全に活用しようとしている。 b:情報システムや提供されるサービスの活用のあり方、社会生活に及ぼす影響と役割について考えている。 c:簡単な暗号化・復号ができる。 d:基本的なアルゴリズムを理解している。	授業観察 情報のノート 実習作品 定期考査
後期	ディジタル技術	○ディジタルの特徴 ○音のディジタル化 ○圧縮 ○WWWと電子メール ○ネットワーク	○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○	a:アナログ情報のディジタル化の仕組みに興味をもち、学習に積極的に取り組もうとしている。 b: Webページや電子メールの仕組みについて、データの流れを追いながら説明できる。 c:情報機器を用いて情報をディジタル化することができる。また、ディジタル化した情報を編集し、発信することができる。 d:プロトコルや情報伝達の仕組みについて理解している。	授業観察 情報のノート 実習作品 定期考査

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:技能 d:知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。